

冬の到来を告げる、三日野恒例、お餅つき大会が今年も盛大に開かれました。校舎建て替え工事中の、限られたスペースの中、PTAの役員の皆様が綿密に計画を立て、おやじの会としてのサポートも円滑に進められました。今年も日野屋さんに大変お世話になりました。

三日野 お餅つき大会（12月6日）

お餅つき大会が12月に移ってから、今回で二回目の開催となります。校庭が狭く、火の使用が制限されていることから、お雑煮やお汁粉はありませんでしたが、餅は餅屋。美味しいお餅を食べに、大勢の人が校庭に集まりました。おやじの会では、PTA役員のご指導の下、準備作業、お餅のつき手、後片付け等、主に力仕事を担当させて頂きました。



早朝からの蒸し器等の準備作業



熱々の餅米の準備



「半殺し」は力が要る作業



毒見？

前半の主役は子供たち。おやじメンバーの指導の下、みんなで仲良く餅つきを楽しみました。そして、後半の主役はつきたてのお餅です。中には40個近くも食べた子がいました。それもそのはず、つきたてのお餅は、どこで食べるお餅よりも美味しいのです。ご馳走様でした！



《編集後記》

校舎建て替え工事の影響で、校庭が約半分の大きさになっていますが、PTA役員の皆様が工夫を凝らし、限られたスペースを有効活用して、今年もたくさんのほっぺたが、そこかしこで落ちこちっていました。美味しいお餅を食べたら、もう幾つ寝るとお正月？
(文責山田)